

5/18(土)

1 開会式

開会宣言：主催クラブ理事長

主催者あいさつ：実行委員長、新潟県知事、村上市長

文科省あいさつ：スポーツ・青少年局スポーツ振興課長 森岡 裕策

来賓紹介：衆議院議員、県会議員、市会議員

2 基調講演 (NSG グループ代表：池田 弘)

2002FIFA ワールドカップ日韓共同大会を**新潟**に誘致した。**アルビレックス新潟**の他、アルビレックス BB (バスケ)、アルビレックス BC (野球)、チア、陸上など地域密着型クラブの運営。

また、新潟、福島、東京で 30 校を数える教育機関や医療・福祉機関、商社、広告代理店、IT・ソリューション、アウトソーシングなど**多分野の株式会社からなる NSG グループの代表**。

【NSG グループ経営理念】

「人々の幸福と豊かさを実現するために社会のニーズに合った事業の可能性を追求し、地域社会、国家、国際社会の発展に寄与する。」これが、**総合型地域スポーツクラブの理念と合致**。

【アルビレックス新潟の例】

チームを維持するには、年間約 4 億円必要。しかし、企業協賛等では 2 億円しか集まらず、残りの **2 億円**を、ヨーロッパのクラブチーム (バルセロナというブランド) を例に (15 万人×15000 円=22 億 5 千万円)、**捻出** (15000 人×15000 円=2 億 2 千 5 百万円)。

従来の**実業団**チーム (企業が支える) から、**地域密着型**チーム (地域が支える) へ変貌を遂げた。

「**みる・する・支えるスポーツ**」の原点でもある。

J1・J2・2 部～5 部リーグからなる J リーグは、一般社会人リーグが 5 部から始まり、トップリーグに**つながる仕組み** (上を目指せる仕組み) づくり。

3 パネルディスカッション

コーディネーター：新潟医療福祉大学教授

パネリスト：上村医院長・新潟県 MICE 研究協議会座長・村上市村上南小学校長・豊丘村会議員

◆はじめに (コーディネーター)

①パラダイムシステムの構築 (天動説⇒地動説に変わったように、考え方を変革する)

②新しい価値の追求 (**クラブの収益増⇒地域の収益増へ**)

③会話・対論⇒対話へ (生産性のある話合いをする)

会話 (私は○、僕は×：生産性 0)

対論 (私は○○と思う、僕は○○反対△△××だ：生産性 0 かマイナス)

対話 (私は○○と思う、僕もそう思う△△××もいかがですか：生産性プラス)

◆パネルディスカッション (テーマ：「多分野融合」)

①医療・福祉 (プレゼン資料 P2～5)

・筋肉は使わなければ 1 週間で 1 割減少

・健康づくりは、「いつでも・どこでも・誰でも」だが、**1 人ではやらない**。

・労働≠運動ではない。

・総合型地域スポーツクラブの立ち位置を確認する (プレゼン資料 P3)

・生活習慣病とは生活の習慣 (不摂生) からくる病、生活の習慣を変えれば治る。

・**メタボもロコモも病院ではなくスポーツクラブで治す**。

・**医者が足りないなら患者さんを減らそう**。

②観光 (プレゼン資料 P8～9)

・新潟 MICE (Meeting Incentive Travel Convention Event/Exhibition)

イベント、印刷、旅行代理店、映像、鼓童など 20 社による研究協議会

・スポーツコミッション

スポーツの分野で新たな観光・交流人口の拡大を図るため、スポーツに関するシティセールスや関連マーケティング活動を専門的に展開する組織。

③郷育（プレゼン資料 P6～7）

- ・郷育会議（さといくかいぎ）の開催
- ・学校、社会、NPO 等の民間団体や一般市民の連携・協働による課題解決への取組
- ・小学校体育活動コーディネーターの配置（市内小学校 15 校に派遣）

④まちづくり（プレゼン資料 P10）

- ・母親をターゲットにした子育てサロン（母親は村外からきているので外部からの視点）
- ・雑貨店、フリーマーケット、流しそうめんなど、住民・行政・学校など地域ぐるみで実施。
- ・地域の資源、人材をフル活用（頼まれごととは試されごと）

4 リレートーク

クラブの課題から解決へ、8クラブ（**プレゼン資料 P11 参照**）によるリレートーク

※詳細は、プレゼン資料 P12～28 参照。

①クラブの認知度を上げた成功例

- ・幼児体育支援、**運動会の種目指導**、園の行事参加、**学校行事へのボランティア派遣**、**読み聞かせ**など公益的な活動を通してクラブの認知度が上がった。

②若年層の指導者・スタッフ・会員確保の成功例

- ・農村地域の農閑期の活動や少年団、地域サークルとの連携によるスポーツ活動事業の実施。
- ・**札幌ドーム観戦ツアー**など、会員のニーズを基に企画し、会員による運営システムが構築。

③高齢者の活動が盛んな成功例

- ・**コミュニティバス事業**により、高齢者の足を確保。
- ・地元の集会施設 2 会場で教室を開催。（歩いてこられる身近な施設）

④指導者の確保・育成の成功例

- ・11（種目）の専門部による **11 クラブの体験会**を実施。
- ・東京都広域スポーツセンターが指導者派遣事業を実施。

⑤クラブの収支がうまくいっている成功例

- ・文科省委託事業の活用「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」
- ・地域のフリーインストラクターを活用。（クラブ運営も手伝い）
- ・スポーツ少年団の活用。
- ・**アスリート**を指導・運営スタッフとしてクラブで**雇用**。（月 25 万円位）セカンドキャリア。

⑥受託事業から自主事業への成功例

- ・行政のスリム化により村上市 12 施設の指定管理者（委託事業も 700 万⇒1200 万へ）
- ・**行政、クラブ、各団体の問題意識が一致**（高齢者の健康づくりへの取組）高齢化率 32%
- ・スポーツをしない人たちへのカリキュラムを提供。

⑦他団体や外部団体とうまく連携している成功例

- ・株式会社イオンとコラボ事業「**健康ショッピング in イオン**」
ウォーキングイベントとして、イオンを隅々まで見てもらう。買い物教室へ発展
- ・ポイントは、アクションを起こす勇氣、まずは友達から、健康ショッピング、社会貢献

⑧広報活動の成功例

- ・市報に市内 3 クラブの掲載枠を確保。全戸に配布・回覧
- ・市内 3 クラブで合同パンフレットを年 2 回発行
- ・目に留まる広報誌の作成。
- ・**大人倶楽部（美食・文化・癒し・旅）**
大人だからこそ、大人ならではの楽しみ方、自分らしい過ごし方を見つけるいきがい・仲間作りセミナー。

【その他】

全国 SC 会議実行委員会事務局長に、NPO 法人ごうどスポーツクラブ（岐阜県）小倉二郎氏就任。
第 8 回福島市南相馬市（2014）、第 9 回熊本県出雲市（2015）にて開催される。

5/19(日)

1 今後の総合型クラブ施策に関する問題提起

NPO 法人クラブネッツ 理事長 黒須 充氏 (レジメ P13 参照)

- ①総合型クラブの格差是正
クラブがクラブを育てる 土壌づくり
- ②**中間支援組織の育成**
クラブの創設から運営までを総合的にアドバイスする人材の育成
- ③投入額に見合う**費用対効果の指標化**
今後の公的支援のあり方や費用対効果の指標化など、科学的根拠 (エビデンス) に基づく政策提言集団 (シンクタンク) が必要。
- ④新しい公共を担う総合型クラブ (公益性と事業性の両立)
広く地域社会全体に、活動の便益が提供されるよう、地域スポーツ推進の窓口を一元化する**ワンストップモデル事業**の実施。
- ⑤ゲノッセンシャフト (Genossenschaft)
総合型クラブは、「スポーツのクラブ」ではなく、「地域のクラブ」を目指す。
- ⑥地方スポーツ推進計画
H24.3、文科省が「スポーツ基本計画」策定。H25.3、愛知県が「いきいきあいちスポーツプラン」を策定。※県民と行政が対等の立場で立案。
- ⑦持続可能な社会 (サステナブル・ソサイエティ) に向けて
スポーツは文化資本。キーワードは、地域コミュニティ、コーディネーター、拠点事務所、パートナーシップ、ソーシャル・キャピタル (社会学、政治学、経済学、経営学などにおいて用いられる概念)

2 分科会

「安定継続へのヒントを探る」～人材・財源・連携～ をテーマに①～④で分科会

- ①30 歳未満
- ②女性
- ③指導者
- ④マネジメントに携わる者 (これに出席)

【人 材】

- ・クラブマネジャー、コーディネーターの育成
- ・指導者、スタッフが同じスキルを持ち、同じ理念を共有する
- ・他クラブへの研修事業
- ・ボランティアスタッフの活用

【財 源】

- ・アフターtoto への対応 (法人取得により 3 年間延長)
- ・自主運営するための収益事業の拡大。(ただし、設立時の理念を忘れずに)
- ・法人化⇒指定管理者 (クラブハウス所有) の急務
- ・雇用の確保=会員増・事業増

【連 携】

- ・モデル事業受託クラブからノウハウを学び、いい所取りで事業を展開する。
- ・企業と連携するためには、信用を得るため、(NPO) **法人化**が必要。

【その他】

- ・**企業の空き店舗を借家** (家賃月 40 万円だが、同額の収益事業を展開することで事務所を確保) することで、**5 年毎の指定管理や助成金、補助金の打ち切りの心配がない**。
会費なしでも、100 種目/1 回 500 円で継続可能。

3 閉会式

主催者あいさつ・閉会宣言・次年度開催地紹介・クラブ旗引継ぎなど

1 開会式



△大滝平正村上市長



△開会セレモニー（希楽々フラガール）

2 基調講演&パネルディスカッション



△池田 弘 NSG グループ代表



△パネルディスカッション

3 リレートーク&夕日



△リレートーク



△汐見町の夕日

4 情報交換会&2日目の問題提起



△衆議院議員あいさつ



△鏡開き



△黒須 充 福島大学教授